

# あたたかいお気持ち ありがとうございます



サッポロビール株式会社那須工場から田代友愛小学校に児童用の手作りマスク88枚とフェイスシールド40枚が寄贈されました  
(11/5 校長室)



勤労感謝の日を前に、認定こども園那須幼稚園から「お仕事お疲れさまです」とのメッセージとシクラメンをいただきました  
(11/20 町長室)



那須町商工会親睦チャリティーゴルフ大会からジュニアゴルフ育成事業振興のため寄付金をいただきました  
(11/16 町長室)



町の人気観光スポットの一つである、道の駅「東山道伊王野」が開業20周年を迎えました。記念イベントは中止になりましたが、関係者ら約20人が出席し、芦野石でできた記念碑の除幕式を行いました  
(11/15 親水公園脇)



いちご一会とちぎ国体・オールとちぎプロジェクト「あいさつ運動」。温かいおもてなしで迎える大会の実現に向け、とちまるくんと代表委員、6年生全員が登校してきた児童に元気なあいさつを行いました  
(11/16 高久小学校昇降口)



昨年12月11日に那須高原友愛の森で開催した天皇陛下御即位奉祝記念植樹式で、記念樹となる桜の苗木「プリンセス雅(みやび)」を寄贈してくださった室井一郎さん(夕狩)と室井勝さん(埼玉県川口市)に町から感謝状を贈呈しました  
(11/16 町長室)

## ロボット「遊び」を「学び」につなげる



株式会社ソニー・グローバルエデュケーションからロボットプログラミング教材「KOOV (クープ)」15キットをいただきました。KOOVは、ブロックで自由な「かたち」を作り、プログラミングによってさまざまな「動き」を与えて遊ぶ、ロボット・プログラミング学習キットです。町は、KOOVを活用した授業づくりを田代友愛小学校からスタートし、町内小中学校に展開していきます。

11月24日、オンライン贈呈式が行われ、田代友愛小学校4年生12人が関係者らに感謝を伝えました。

## りんどう作業所開所30周年



町社会福祉協議会が運営する「りんどう作業所」は、障がい者などが生産活動や社会との交流活動を通じて、自立した社会生活を営むことができるよう支援を行うことを目的に平成2年4月に開所しました。

11月13日、ゆめプラザ・那須で記念式典を行い、ボランティア活動などでご協力いただいた方へ、感謝の気持ちを伝えるため、通所者たちが制作した木工品や手芸品を記念品として贈りました。

# 社会で役立つスキルを学ぶ

那須中学校では、感染症で中止となった2年生のマイチャレンジ（職業体験）の代わりとして、社会で活躍している方を講師に講演会を開催しました。

## チームワークを学ぶショップ

11月18日には、チームワークを学ぶショップを体験。各種講演・企業研修を行っているサイボウズチームワーク総研のなかむらアサミ氏からチームワークを発揮するには、理想をつくること、役割分担をすること、コミュニケーションすること、情報を共有すること、モチベーションを上げることの重要性を学びました。

1組の郷間塔子さんは「社会に出たら、個人個人の思いはあると思いますが、1つの理想をみんなで持てるようにならう」と話しました。

なかむら氏は、「自分がやりたいことをやるために、自分の思いを発信し、共感してもらうことが大切。チームワークはこれからいつでも必要になる。悩んだ時には、今日学んだことを生かして頑張ってください」とこれから社会に出る生徒に向けエールを送りました。



チームワークの木。1人ずつ葉っぱに理想（どんなクラスにしたいか）を書き、コメントに理想の実現に向けて自分ができることを書きました

## 下野新聞塾

11月16日に行われた「下野新聞塾」では、下野新聞社那須塙原支局長の石田聰氏が講師を務め、結論を先に書く新聞の書き方や、縦・横撮りの写真の効果、下調べや質問を整理しておくことなど取材での大切なことを生徒たちに話しました。

2組の大森逸平さんは「紙面の都合で後ろの部分が削除されてしまう記事でも、大事な情報は伝わるような書き方の順番になっていることを知りました。これからは、1面トップの記事だけでも読むようにしたい」と新聞の面白さに興味を持ったようでした。



2人1組になり交代で「昨日の晩ごはんについて」取材。記事を書くことを意識して、何を食べたかだけでなく、時間や場所、味、誰と食べたか等、話しを掘り下げて聞く工夫を学びました

## いのちのあたたかさを感じる

11月10日、学びの森小学校で「獣医師による出前授業」が行われ、児童たちは、ウサギの目が赤い理由や長い耳の機能、ウサギに与えてはいけない食べ物などウサギの生態を学び、また、抱いたり、聴診器を使って心臓の音を聞いたりしながら、いのちの大切さを感じました。

4年の村田流輝さんは、「ふわふわでやわらかくてあったかかった。これからも学校で飼っているウサギと仲良くしていきたい」と笑顔を見せました。講師を務めた獣医師の佐藤かおり氏は、「リモートやデジタルの時代だからこそ生き物の温もりを感じ、命を考えることが大切」と話しました。



## 町をよくしたい～中学生の思い～

11月20日、那須中学校で2年生によるプレゼン発表会「よりよい那須町にするために」が開催され、教育委員や町職員、地域の方、約30人が参加しました。生徒たちは、ゴミ問題や高齢者問題、温暖化問題等をテーマに、調査し、考えた問題点やその解決方法、自分たちのできることや大人への提案等を1人ずつ発表。参加者からは、生徒たちの声に耳を傾け、また、その発表に対し、感想や意見など生徒たちに伝えました。

高原公民館：女性学級「初☆学校へ行こう！」として、参加した地域の方からは、「一人ひとりが問題に向き合い、調べたことなどをタブレットを使ってほかの人に発表した姿に感心しました」「発表がとても分かりやすかった」「子どもたちが町の未来を考えてくれていることが嬉しかった」との声が聞かれました。



# 青春を仲間たちと

10月31日、那須中学校で「群青の躍動～共に未来へ～」をスローガンに文化祭が開催されました。

感染防止対策を講じた上で実施。午前中は、リモートでの生徒発表（総合的な学習、ビブリオバトル、学級動画コンテストなど）と県警音楽隊を招いての音楽鑑賞会。午後は、校庭でスポーツフェスティバルとフィナーレイベント（バルーンリリース）を行いました。

▶栃木県警音楽隊の迫力ある吹奏楽の演奏とカラーガード隊によるダイナミックな演出に魅了されました



▶学級対抗ビブリオバトル。6組のバトラーが、4分間に紹介する本のおもしろい場面や入ったセリフなどを全校生徒に力強く語りました



▶将来に向けた思いやコロナ禍の中で優しい世界に向けた思いを紙に書きバルーンと共に大空へ放ちました



▶学級対抗長縄跳び大会。八の字跳び対決と、息の合った団体跳び対決で跳んだ回数を競いました



絵画やレトロな家具が並ぶ店内



芦野郵便局隣のカフェギャラリー

おすすめはピザとコーヒー

セット(ケーキ付)

カフェギャラリー  
伊勢屋  
0287-74-0157  
不定休  
※店内は最大5名で営業中



「今年の3月から趣味の範囲でおうちカフェのような小さなカフェを始めました」と、オーナーの板橋良吉さん。地域の方がホットひと休みできる場所をつくりたいと、カフェギャラリーをオープンしました。店内では、板橋さんが淹れるコーヒーなどを飲みながら、展示品を鑑賞することができます。展示品は、「古いものが好き」という板橋さんが収集してきたもので、絵画や焼き物などさまざま。那須地域にゆかりのある作家の作

品も多いといいます。店の裏手にある蔵のような建物には、大正から昭和初期に発行された那須地域の鳥瞰図などを拡大したものや、地域の歴史資料などが展示されています。この建物内でもコーヒーを飲むことができ、板橋さんは「蔵カフェ」と呼んでいます。

気さくに展示品の解説をする板橋さんは、「狭いスペースですがレトロな空間で、しばしコーヒータイムを楽しんでもらえば」と話してくれました。



那須のいろいろおいしいものを、作る人の思いも一緒にご紹介。

No.23 カフェギャラリー  
伊勢屋

ホットひと休みできる  
場所に



オーナーの板橋良吉さん  
(蔵カフェ内にて)

# みんなの広場

表紙シリーズ「はぐくむ喜び」では、町を支える農業の魅力をご紹介します。



TINTS株式会社/FARM1739  
井上敬二朗さん 真梨子さん(狸久保)

- ・第3回とちぎ次世代の力大賞奨励賞受賞
- ・那須ブランド認定「INAPON (イナポン)」

表紙シリーズ

はぐくむ  
喜び  
～農業の魅力～  
6次産業

No. 23



イナポンはノンフライ、添加物不使用、グルテンフリー。今後は、おせんべいや米粉を使ったお菓子など小さなお子さまから年配の方まで、みんなに手に取ってもらいたい商品を作り、那須のお米のおいしさを知ってもらえるようにしていきたいとのことです

敬二朗さんは、子どもが田んぼで走り回り遊んでいるのを見て、この光景を未来に残したい。そして田んぼがあることで水や生き物を守ることができると「田んぼのあることの意味」を見い出しました。

「お米を食べることで、田んぼがある風景を守れることを考えてもらえたなら嬉しい」2人の思いが、イナポンやお米をとおして広がっています。

「イナポンは広報担当者。イナポンを開発したことでお客さまとの接点ができ、また、多くの方との関係を築くことができました」と話すのは、井上敬二朗さん、真梨子さん夫妻。専業農家として、お米を栽培する傍ら、お米を手軽に食べられるようにとの考え方からお米を使ったパフライスを作っています。

## 短歌

## 遊行柳枝句集

那須の地に終の住処で暮らす日々  
めぐりくる紅葉山々燃える  
赤き星梢の向こう光る  
今宵十三夜月は晃晃と

塩島 恵子  
田中恵美子

稽田の中に遊行柳搖れ  
行く秋や遊行柳の投句箱  
須賀川市  
加須市

渡辺 圭子  
内田恵里子

## 俳句

## 那須文芸

ジャムを煮る小さき幸せ冬に入る  
手を合わせ故人を偲ぶ今朝の冬  
何處からか薪焚く匂ひ今朝の冬  
奥の間に差し込む日差し冬に入る

丹野 博子  
井上 裕子  
池田 博子  
高久 卷江  
中島 君江  
杉本 美風  
高畑 和子  
井上 均  
齊藤 照代  
仲川 光風  
小森 静江  
岡部 慶子  
長島 啓子  
津田イツ子  
七海 英音  
郷 華

美しく生きるを座右に姫つばき  
廃屋となりし呉服屋花八手  
冬蝶のふたつからむて池に落つ  
十分に生きて小さき冬の蝶  
古き良き格子戸の家八つ手咲く  
御用聞きの声裏木戸に花八手  
冬夕焼海岸を打つ波の音  
花咲きて愛てる人なき大八手  
亡き兄の一周忌とや冬の蝶

## 「広報那須」に広告を掲載しませんか

### ■広告の大きさと掲載料

1号広告 縦5cm 横17cm 20,000円  
2号広告 縦5cm 横8cm 10,000円

### ■掲載方法

掲載希望発行日の2カ月前までに申込みをし、版下原稿を作成・提出してください。

### ■申込み・問合せ

総務課広報広聴係 ☎ 72-6901

## 那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。

また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 12月17日(木)

■俳句の送付先

〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166  
田中 義郎 ☎ 72-5044

■短歌の送付先

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13  
総務課広報広聴係 ☎ 72-6901

# 年末年始[12月28日(月)~1月5日(火)]業務日程

	12月				1月				
	28日 (月)	29日 (火)	30日 (水)	31日 (木)	1日 (金)	2日 (土)	3日 (日)	4日 (月)	5日 (火)
役場本庁・支所 総務課総務係 ☎72-6901	○	×	×	×	×	×	×	○	○
ゆめプラザ・那須 こども未来課管理係 ☎72-6959	○	×	×	×	×	×	×	○	×
文化センター 生涯学習課文化振興係 ☎72-6565	×	×	×	×	×	×	×	×	○
スポーツセンター 生涯学習課スポーツ施設係 ☎72-5959	×	×	×	×	×	×	×	×	○
図書館(※1) ☎72-5840	×	○	○	×	×	×	×	×	○
那須歴史探訪館 ☎74-7007	×	×	×	×	×	×	×	×	○
那須スイミングドーム ☎72-6788	×	×	×	×	×	×	×	×	○
りぼーる・たなか ☎73-5347	×	×	×	×	×	×	×	×	○
町民バス ふるさと定住課公共交通係 ☎72-6955	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デマンド型乗合交通 ふるさと定住課公共交通係 ☎72-6955	○	○	○	○	○	○	×	○	○
クリーンステーション那須(※2) ☎74-0420	○	×	○ (※3)	×	×	×	×	○	○
広域クリーンセンター大田原 ☎0287-20-2270	○	○	○	×	×	×	×	○	○
火葬場(那須聖苑) 那須塩原市環境課 ☎62-7142	○	○	×	○	×	×	○	×	○

※1 休み中の貸し出し図書の返却は、外に備え付けてある回収ボックスに入れてください。

※2 ごみの収集（ごみステーション収集）は収集計画表のとおりです。

※3 12月30日(水)は一般ごみ（燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみのみ）を受け入れます。午前8時30分～午後3時  
1月4日(月)以降は通常受け入れです。

## ◆ 上下水道課・し尿処理施設からのお願い ◆

12月29日(火)から1月3日(日)までの期間に、道  
路上から水があふれているなどの漏水事故を発見  
した場合は、下記まで連絡をお願いします。

○日中の連絡先 午前8時30～午後5時15分

役場本庁（日直） ☎72-6901

○夜間の連絡先 午後5時15分～午前8時30分

那須消防署 ☎72-1215

### ◎資源は大切に◎

水は限りある資源です。大切に使いましょう。

■問合せ 上下水道課水道施設係 ☎72-6920

12月29日(火)から1月3日(日)まで、し尿と浄化  
槽汚泥の受入を停止します。年末は、し尿汲み取り  
と浄化槽清掃の依頼が集中しますので、許可業者  
へのご依頼は早めにお願いします。

- ・協業組合環境整美公社 ☎0287-23-3231
- ・有限会社高安産業 ☎0287-22-3378
- ・有限会社ポート・ワン ☎0287-62-1455
- ・有限会社新井衛生社 ☎0287-62-1753
- ・株式会社那須清掃サービス ☎0287-74-0516
- ・宇都宮文化センター株式会社 ☎0287-32-4570

■問合せ 那須地区広域行政事務組合事業課業務係  
☎0287-65-3611

# 令和2年12月・令和3年1月のカレンダー

12月10日～1月9日

12月	
10	木
11	金
12	土
13	日 休日当番医診療 那須高原クリニック (☎67-2701)
14	月 休館 (図書館、スポセン、文セン、探訪館、ドーム)
15	火 休館 (ゆめプラザ・那須)
16	水 休館 (りぼーる)
17	木
18	金 行政相談 (ゆめプラザ・那須 午前9時～正午)
19	土 子育て相談 (子育て支援センター 午前9時30分～午後4時)
20	日 毎月第3日曜日は家庭の日です。 休日当番医診療 那須脳神経外科病院 (☎62-5500)
21	月 心配ごと相談 (ゆめプラザ・那須 午前10時～午後3時) 休館 (図書館、スポセン、文セン、探訪館)
22	火 休館 (ゆめプラザ・那須)
23	水 交通事故巡回相談 (那須県民相談室 午前10時～、午後1時～) 不動産相談 (不動産会館県北支部 午後1時30分～3時30分) 休館 (りぼーる)
24	木
1月	
1	金 休日当番医診療 菅間記念病院 (☎62-0733)
2	土 休日当番医診療 菅間記念病院 (☎62-0733)
3	日 休日当番医診療 菅間記念病院 (☎62-0733)
4	月 休館 (図書館、スポセン、文セン、探訪館、ドーム)
5	火 広報那須1月号発行 休館 (ゆめプラザ・那須)
6	水 休館 (りぼーる)
7	木
8	金
9	土

※休館案内 表示と問合せは以下のとおりです。

図書館：那須町立図書館 (☎72-5840)、スポセン：那須町スポーツセンター (☎72-5959)、文セン：那須町文化センター (☎72-6565)、探訪館：那須歴史探訪館 (☎74-7007)、ドーム：那須スイミングドーム (☎72-6788)、ゆめプラザ・那須：那須町こども未来課 (☎72-6959)、りぼーる：りぼーる・たなか (☎73-5347) です。

※年末年始の施設の休館は、右頁の「年末年始業務日程」をご覧ください。

※検診等は保健センターだより(14頁)をご覧ください。

※内容等は変更になる場合があります。

## 広報那須1月号 1月5日(火)発行

### 12月の納税 納期限 12月25日(金)

- ・固定資産税3期
- ・国民健康保険税6期
- ・介護保険料6期
- ・後期高齢者医療保険料6期

納め忘れの町税はありませんか？今一度ご確認ください。

○納税は便利な口座振替で！ ○コンビニでも納められます。

○クレジットカード納付や、LINEPay、PayPayでの納付もできます。

(クレジットカードの納付は町県民税、固定資産税、軽自動車税、

国民健康保険税のみ納期限内に限ります。詳しくは税務課まで☎72-6904)

毎週水曜日に夜間延長窓口を開設しています

- 開設課（本庁）
  - 住民生活課 (☎72-6908)
  - 保健福祉課 (☎72-6910)
  - 税務課 (☎72-6936)

#### ■開設時間

午後5時15分～7時

※水曜日が祝日の場合は木曜日に開設。

# 那須平成の森だより

～自分での自然に出会う～

## 第6回 「那須平成の森の冬 スノーシュートで楽しもう！」

今回は、積雪期に大活躍するスノーシューを使ったガイドウォークなどを紹介します。

スノーシューとは、「西洋かんじき」とも呼ばれる雪上を歩くための道具です。那須平成の森でスノーシューガイドウォークができるほど雪が積もるのは、1月中旬頃からで、歩ける場所は私たちが「ふれあいの森」と呼んでいる一般開放エリアです。

### 【自由散策】

「ふれあいの森」は、どなたでも自由に歩けます。お子様連れの方は、安心してソリ遊びや雪だるま作りなどを楽しめます。



スノーシューをはいて森の奥へと進みます

雪が降るとあちこちで見かける「ホントウサギの足跡」



### 【特別ガイドウォーク・ナイトハイキング】

冬季限定、夜の森を歩く非日常のプログラムです。雪に覆われた夜の森は日中と全く違った表情を見せてくれます。満月の夜なら、月明りに照らされた樹木たちのシルエット、新月の夜なら、木の間越しに瞬く星々のきらめき、他にも魅力はいっぱいです。1月から3月にかけて連載を見送ったのは今年の6月

「広報那須」のコーナーのひとつで、平成31年1月号からスタートした「ホッとひと息」おいしい那須めぐり」は、「那須のおいしいものを、作る人の思いも一緒に紹介する」をテーマに全23回連載し、今月号で最終回となりました。

号。取材を行う5月上旬は、国の緊急事態宣言下で営業自粛などが要請されていました。令和3年1月号からは、新コーナー「那須のおいしい麵めぐり」をスタートします。ラーメン、うどん、そば、パスタ店をめぐり、店のイチ押しメニューを紹介します。

その前に、まずは年越しそば。コロナ禍の中ではありますが、お迎えください。

(回)

昨年1月から始まった表紙シリーズ「はぐくむ喜び～農業の魅力～」が終わりを迎えました。取材をする中で、農業に携わる方々の努力があるからこそ、町にはおいしいお米や野菜、肉、乳製品、美しい花があることに改めて気づき、その奮闘に敬服いたしました。取材にご協力くださった農家の皆さん、関心を持ち表紙の話を読んできださった皆さん、本当にありがとうございました。

(飯)

コースと3時間コースを用意しています。森の奥まで踏み入り、インテープリターと一緒に雪面に残されたホンドキツネやニホンウサギの足跡をたどつたり、さまざまな表情をした冬芽を探したりするなど、冬のいきものたちの暮らしを観察します。

数回実施します。  
那須町は、標高差も含め広いですね。読者の皆さんの中には、厳冬期、雪のある那須岳の麓に来られたことがない方もいらっしゃるでしょう。今回の那須平成の森だよりを読んで皆さん思うのは、「やっぱり無理！」か、「よし、行ってみよう！」か。さあ、あなたはどうですか？



夜のスノーシュープログラム、満月の森で過ごす

那須平成の森フィールドセンター  
センター長 若林正浩



## こんにちは 赤ちゃん

令和2年4月2日生

ゆま 室越柚舞ちゃん (本郷)

父 涉さん  
母 宏美さん

柚舞ちゃんへ…  
お姉ちゃんと一緒にスクスク大きくな~れ☆



「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。

詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

## 町の世帯と人口

(11月1日現在・住民基本台帳)  
( )の数字は前月比

・世帯数 10,410世帯 (+6)  
・人口 24,784人 (-22)  
男 12,333人(-10) 女 12,451人(-12)

## あなたの「声」をきかせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。  
お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。

現在は、週末を中心に2時間  
「ガイドウォーク」